

各委員会の新メンバーを決定 —ごみ対策特別委員会 を新たに設置—

第2回定例会を5月11日から29日まで、19日間の会期で開催しました。一般質問は4日間にわたり19名の議員が質問を行いました。今定例会では、議員提出議案2件、市長提出議案12件、意見書1件、決議1件等について議決しました。

また、各常任委員会委員の選任やごみ対策特別委員会の設置等、議会の新たな内部構成について決定しました。(新しい構成については8ページに掲載)

義務教育就学児の医療費 負担額が軽減に

議案第54号「国分寺市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」は、東京都義務教育就学児医療費助成事業における一部負担金相当額の変更により、助成の範囲を拡大し、自己負担の軽減を図るというものです。

具体的な内容としては、現行制度では、医療費の保険負担分を除く3割の自己負担のうち1割について助成を行っているが、これを本年10月からは、一部自己負担はあるものの3割について助成を行うというものです。なお、自己負担は、通院1回について上限額200円であるが、入院、調剤、訪問看護にかかる医療費は無料と

なっています。

本案は、厚生委員会に付託され、委員会においては、各委員から、「医療機関での診察のほか柔道整復師による施術が助成の対象になることの確認について」「助成制度の対象者に所得制限があり、これは、児童手当制度に準拠していることの確認について」「区部及び多摩地域の2市が無料化していること、所得制限の撤廃を行っている市が3市あることを踏まえた上で、国分寺市としての目指す方向性について」「所得制限により何割の方が対象外となるのかといった客観的な議論ができるよう、全体の対象者の所得階層のデータを示すべきであるとの指摘について」等、概略、以上のような質疑が行われました。

同条例については、委員会、本会議ともに、全員賛成により可決しました。

外部委員による 職員懲戒審査会を設置

これまで市職員の懲戒や分限の処分は、国分寺市職員懲戒分限審査委員会規程に基づき、副市長を委員長とする市職員5名で構成する委員会により、調査や審査を行っていました。このため議会において、より公正性を高めるために、市職員以外の委員による審査機関の設置を求める意見が出されていました。

議案第53号「国分寺市職員懲戒審査会設置条例」は、懲戒処分に関する調査や審査を行うため、新たに外部の委員3名による審査会を設置するというものです。なお分限処分については、従来どおり副市長をはじめとした市職員による委員会で行うとするものです。

5月15日に開催の総務委員会では、「委員数を3名とした根拠と過半数採決とすることの妥当性について」「除斥規定と審査会開催要件との整合性について」「調査や審査に関して運用上の細目を整備する必要性について」「分限処分の現状について」「懲戒と分限の審査会を分割する理由と運用について」など様々な質疑がありました。

市長から、「本議案について改めて検討すべき点があるため、本日は保留として欲しい」旨の発言があり、総務委員会では審査を保留としました。

5月29日の本会議において、市長は、議案第53号を撤回し、委員の出席要件や副委員長の設置などの点を修正した同条例案を、議案第59号として再提案しました。

同日開催の総務委員会では、「委員数3名は4名ないし5名に変更すべき」「過半数採決ではなく合議制とすべき」「他の条例により設置されている委員3名による委員会についても除斥規定や委員数を見直すべき」などの意見が出されました。

担当からは、「今後の運用状況を見て3年後に委員数も含めた見直しを行う」「審査会の議論

委員会・一部事務組合等の新メンバー決定

国分寺市議会では、常任委員（任期2年）の改選の時期に合わせ、市議会内の委員会・一部事務組合議会議員・各種委員等についてもメンバーの変更を行っています。ここでは、主な変更点のみ紹介しますが、新メンバー等、詳細については8ページの一覧表をご覧ください。

なお、5月11日に副議長選挙を行い、川合洋行議員を選出しましたが、同議員の辞職に伴い、副議長は6月12日現在、欠員になっています。



釜我 健二議員
(監査委員)

議会選出監査委員は 釜我議員に

前任者の退職にともない、釜我健二議員（市民サイド、9期目）を議員のうちから選出する監査委員とする議案を5月11日の本会議において、全員賛成で同意しました。

後期高齢者医療広域連合議会議員を 本市から初めて推薦

東京都後期高齢者医療広域連合は、後期高齢者医療制度を運営するため、都内62区市町村で組織され、平成19年に設立された特別地方公共団体です。同連合の議会の定数は31人のため、各区市町村の議会から2年ごとに順番で選出されます。本市からは初めて同議会議員に推薦することになりますが、5月29日の本会議において、亀倉議員（市民サイド、5期目）を全員賛成で推薦しました。

「ごみ対策特別委員会」を新設、 「国分寺駅周辺整備特別委員会」は人数変更

特別委員会は、必要に応じて設置される委員会です。特定の事件について、より詳しく集中して審査を行います。本市では、これまで国分寺駅周辺整備特別委員会（今議会で8人構成を11人に変更）がありましたが、5月11日の本会議において、ごみの減量やリサイクル事業、清掃施設等ごみ問題に関する調査を行うため、新たに、ごみ対策特別委員会（12人構成）を設置しました。